

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ペットビューティー・ケア科は実践的かつ専門的な職業教育を実施するために、企業との連携、実習、就職フェア等を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫を含む)に活かすことを目的とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

同寺子校教育の基礎の上に、様々な専門的な能力を身に付けるために、就職元ごとの「ハツトコソノ、動物病院などと連携し、その要請を十分に活かしつつ、教育課程の編成に反映させることにより、職業教育の質を高める。外部の関連施設の意見を教育課程編成に反映させる機能として、「教育課程編成委員会」を設置する。教育課程編成にあたっては、授業内容、授業方法およびその手法、法定の範囲内での授業科目の新たな開設など「教育課程編成委員会」の意見を反映させるものと位置づけ、教務課が案を編成し、教育会議において審議、校長に上申後決定実施する。また関連業界に学校教育に関する意見を徴収するためのアンケートを実施し、その結果を「教育課程編成委員会」において活用する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和元年10月16日現在

名前	所属	任期	種別
加藤 元	一般社団法人 J-HANBS 会長	令和元年4月1日～令和2年3	①
花上 信治	東京都ケネル事業協同組合 理事	令和元年4月1日～令和2年3	③
榊原 茂	オフィス榊原	令和元年4月1日～令和2年3	③
太田 正孝	氷取沢ファミリー牧場オーナー	令和元年4月1日～令和2年3	③
北村 昭二	群馬サファリパーク 動物部長	令和元年4月1日～令和2年3	③
井坂 啓美	一般社団法人 ビーチクラブ全国ネットワーク 代	令和元年4月1日～令和2年3	③
水野 隆弘	水野動物病院 院長	令和元年4月1日～令和2年3	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 平成30年9月21日(金) 14:00～15:30

第2回 平成31年3月20日(水) 14:30～16:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

JKC公認トリマーB級取得を目指せるカリキュラムを準備中。学習過程で多くの資格取得ができ、現場での幅広い対応力を身に付けさせる基礎及び専門教育課程について意見をいただいている。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

職業教育の質を確保するため、特に実習・演習等の授業における学習や技術指導、学習効果の評価において企業と連携し、職業に必要な実践的かつ専門能力を養うものとする。具体的には以下の能力をいう。①看護内科実習②看護外科実習③検査実習

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

資格取得模試、一般家庭からお預かりしたモデル犬を使うトリミング実習など実習前に校内の担当教員と企業の実習講師が打合せを行い、実習内容や学修成果の評価方法・評価指標について定める。実習期間中は、学生の実習実施状況や能力習得状況を定期的に把握できるよう相互に情報交換を行う。実習修了時には、実習の講師による学生の学修成果の評価を踏まえ、担当教員が成績評価・単位認定を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
専攻専門講座	動物リハビリテーションや動物ライフデザインなどの応用を学ぶ	水野動物病院
専攻専門講座	食事介護、床ずれ対応等老犬介護(ケア)の基本を学ぶ	ノウメープル獣医東洋医学クリニック
専攻専門講座	犬の不調・体質改善に役立つ東洋医学を応用したセラピーを学ぶ	ノウメープル獣医東洋医学クリニック
動物看護演習	就職、資格取得を見据えた動物医療の基礎を学ぶ	ハナ動物病院
動物看護演習	看護師の役割、衛生管理方法等を学ぶ	大泉ココ動物病院

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

研修は、教職員に対して、学生達が将来就くことが予想される職に係る業務の遂行に必要な知識または技能を習得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質を向上させ、本校の理念・目的・目標を達成することを目的とする。

当校の理念実現のため個人の能力を高めることは必須であり、そのために、組織的に研修を計画し、研修計画の必要性を説明し、教員一人ひとりの発意を促し主体的に参加させている。そのために、教職員の専攻分野・担当業務及び本校関連分野に係る団体・企業の意見を聞き、教職員の経験・能力等を勘案し研修計画を作成し実施する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

「お客様対応研修」平成31年3月8日(金) 当校ペット科教員対象 水野動物病院 実習で必要とされる器具の準備、検査、検温等実践的技術をブラッシュアップする。

② 指導力の修得・向上のための研修等

「指導力アップ研修」平成31年3月15日(金) 当校ペット科教員対象 水野動物病院 飼い主さんに寄り添い、信頼される存在になるための授業の方法を学ぶ。

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「お客様対応研修」(連携企業 水野動物病院) 期間:令和元年11月22日(金) 内容:上記3月8日(金)に実施した研修内容にならう。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「指導力アップ研修」(連携企業 水野動物病院) 期間:令和2年1月17日(金) 内容:上記3月15日(金)に実施した研修内容にならう。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

各委員の業界での知見を活かして、より良い学校運営のために教育目標・環境等について評価し、学校運営に関する教育課題の改善の参考とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	・理念・目的・人材育成像は定められているか (専攻分野の特性は明確になっているか)
(2) 学校運営	・目的等に沿った運営方針が策定されているか ・事業計画に沿った運営方針が策定されているか
(3) 教育活動	・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
(4) 学修成果	・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか
(5) 学生支援	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか
(6) 教育環境	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか
(7) 学生の受入れ募集	・学生募集活動は、適性に行われているか ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
(8) 財務	・中長期的学校の財政基盤は安定しているといえるか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
(9) 法令等の遵守	・法令、専修学校設置基準の遵守と適性な運営がなされているか ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
(10) 社会貢献・地域貢献	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
(11) 国際交流	・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

地域でできることについて委員でディスカッション。夏祭りを皮切りに、地域住民とのコミュニケーションツールとして小学校・ケアハウスへの訪問等〈ふれあい活動〉を行っている。授業参観等の計画への取組も計画している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和元年10月16日

名前	所属	任期	種別
立花 俊一	ユニバーサルツリスト株式会社 代表取締役	令和元年4月1日～令和2年3	PTA
秋山 哲朗	株式会社アビースポーツ 代表取締役	令和元年4月1日～令和2年3	企業等委
加藤 裕康	アカマイエラーニング シニアアドバイザー	令和元年4月1日～令和2年3	企業等委
三畑 武一	NPO法人ミハタ 総合地域スポーツクラブ 相	令和元年4月1日～令和2年3	団体役員
黒田 誠	フィードオン 代表	令和元年4月1日～令和2年3	企業等委
齋藤 忍	獅子浜ダイビングサービス 代表	令和元年4月1日～令和2年3	企業等委
高阪 史生	ウエルソル株式会社 代表取締役	令和元年4月1日～令和2年3	企業等委
江崎 泰元	葵コーポレーション株式会社 代表取締役	令和元年4月1日～令和2年3	企業等委
さとう 俊	マメチ・プロダクション 代表	令和元年4月1日～令和2年3	企業等委

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL <http://www.petandanimalanimal.jp/> 公表時期: 令和元年10月末日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

平成19年度より学校教育法第133条、第134条第2項において準用する第42条及び同法施行規則第189条、第190条において準用する66条、68条により、学校自己評価の実施・公表は実施することが義務づけられた。

これにともない学校では、平成24年度より学校自己評価委員会を立ち上げた。また、平成25年度より学校関係者に関するシステムの構築と普及活動を続けている。私立専門学校等評価研究機構の第三者評価事業が作成した自己点検ブック（私立専門学校等の自己点検・自己評価専門学校等評価基準Ver. 2.0）に基づいた自己点検を行なうことで、教育水準の向上に更に努めているよう工夫している。当校は、「学校自己評価委員会」を設置し、教職員が連携して評価活動を行う。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	建学の精神 ミッション ビジョン 事業計画 組織図 沿革
(2) 各学科等の教育	学科・専攻の案内
(3) 教職員	教職員データ(年齢別、職階別) 教職員一人当たり学生数、専任教員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	職業実践に関する授業科目
(6) 学生の生活支援	学生会館のご案内、下宿に関する相談支援
(7) 学生納付金・修学支援	奨学金について、特待生制度
(8) 学校の財務	財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、消費収支計算書<計画書類
(9) 学校評価	情報公開
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法
(情報提供の方法)

URL:<http://www.petandanimal.jp>